

北白石中学校



Thanks Mail

Honda DREAM 札幌 様

白石でっち奉公の職業体験では、貴重なお時間を割いていただき、ありがとうございました。始業前に広い駐車場を手作業で清掃したり、充実したアフターサービス体制をとっているなど、見えない部分でもお客さまのために全力を尽くす心構えの大切さを知ることができました。ここで学んだことは、日常生活で生かしていこうと思います。本当にありがとうございました。 2年 T.I

焼肉バイキング ウェスタン 北郷店

笑顔と気配りで仕事が充実することを学びました



100種類以上の新鮮でおいしいこだわりメニューが並び食べ放題のお店「焼肉バイキング ウェスタン」。このお店を訪れたのは、飲食業に興味をもつ男子生徒6人です。

制服にネームプレートとエプロンを着いたら、さっそくカウンター作業です。おしぼりは足りているか、タレは補充しなくても大丈夫か、スプーンやフォーク、コップは汚れていないか、と一つずつ丁寧に点検し、お客さま

を迎える準備を進めました。チェックが終わって、開店後は洗い場へ。

最初に教えてもらった“清潔に、きれいに”を合い言葉に、使い終わって下げられた食器を丁寧に洗っていきます。洗い物の後は、厨房の仕事を見学し、ホールの肉やパスタ、サラダ等の量をこまめにチェックして、半分に減ったらすぐ補充しに走る作業に就きました。

「一日中立ちっぱなしで、しかも細かな気配りが必要な大変な仕事でしたが、笑顔を絶やさずがんばりました。」「醤油などを満杯にすると、使う時にこぼれるので、詰め替えの量を加減するようにと教えてもらい、ちょっとした工夫でお客さまの笑顔や満足が得られることを学びました。」「次から次へと、仕事がひっきりなしにありましたが、なんとかこなしていけたと思います。」「つらいこともあったけど楽しかった。」と満足げな生徒たち。

ちょっとした気配りで、仕事の楽しさや喜びが増す。そんなレストランの仕事に、みんな一層興味がわいたようです。



札幌市白石消防署・札幌市民防災センター

体力と勇気のいる仕事 職員の方にもっと感謝しないと!



白石区の消防・火災予防を担う「白石消防署」。4人の男子生徒がここで消防の仕事を経験しました。

最初は、放水体験です。「ホースをしっかり脇に抱えているので、飛び出した水の勢いで体が後ろに飛ばされそうでした。」と生徒。みんな必死の面持ちで耐えていましたが、実際はこの倍ぐらいの水圧だそうです。続いて、高い所でも作業ができる屈折車のかごに乗って、消防署の建物を超える高さまで昇りました。みんな真っ青

です。2階ぐらいの高さまで掛けられたはしごを一気に昇り切る消防士さんの速さには、歓声が上がりました。さらに、煙の立ちこめた暗い部屋から、体重50kgの人形を見つけて救出する検索訓練に挑戦し、「ぼくらも本気で挑戦しましたが、消防士さんにはかなわない。1分1秒を争う仕事を実感できました。」と、消防士さんの仕事の大変さが理解できた様子です。

午後は、隣の防災センターです。ここでは、さまざまな体験施設で防災の知識や災害時の対応を学ぶことができます。身体を低くして煙の充満する部屋から脱出する煙避難や、震度5の地震を体感。地震の時の対応やAED（心臓救命装置）の使い方を学んだり、消火器を実際に使って消火体験をしました。

体験を終えた生徒たちは「体力と勇気がいるけど、やりがいのある仕事ですね。」「僕たちを守ってくれる職員の方にもっと感謝しなければ。」「日頃から体をきたえなきゃ。」と認識を新たにしていました。



Honda DREAM 札幌

あこがれのバイクに触れ 信頼づくりの大切さを実感!



世界的に知られるメーカーの直営バイクショップ「Honda DREAM 札幌」へは、バイクにあこがれる5人の男子生徒が訪問。新車や中古車、合わせて150台以上のバイクがずらりと並び、カラフルなライディングギアコーナーも目を引きま。その広い店の内外を、手作業で清掃したり、展示バイクを一台一台きれいに磨く作業を体験しました。

「店外清掃も人の手で行うなど、お客さまを大事にする

心構えが伝わりました。」と作業を終えた生徒たち。ライダーの視点で危険な場面を体験できる運転シミュレーション装置も体験しました。ゲームのようにバイクを運転し、転倒や事故を模擬体験した生徒は、「これからは、運転している人のことも考えて歩きたい。」と、ライダーの感覚が理解できた様子。あこがれのスポーツモデルや豪華なツーリングバイクにも触れて、気分も最高潮です。

その興奮さめやらぬまま、併設の工場「夢工房」を見学。いつでも最高の状態でバイクに乗れるよう、最新の機械や高度な技術を駆使して修理や点検整備を行ない、お客さまの信頼に応える会社のバックボーン的な部門です。「万全なメカニック体制が商品や会社の信頼を支えているんですね。」「お客さまと長い付き合いをしていくためには、店外清掃やアフターサービスなど、見えない部分にも全力を尽くすことが大切なんですね。」と、お客さまとの信頼関係を築くために努力を惜しまないショップの姿勢が、とても勉強になったようです。



柏丘中学校



Thanks Mail 札幌市白石温水プール 様

職場の体験では、お忙しい中、丁寧に仕事の仕方を教えていただき、すばらしい体験をすることができました。普段、学校では教わらないレジの使い方や品出し、プールの監視などの貴重な体験で学んだ働く意義や仕事の大切さ、大変さを今後の生活や進路選択に生かしていきたいと思えます。本当にありがとうございました。 2年 Y.F

札幌市白石温水プール

責任ある仕事を果たせて 自信ができました！



25mの一般用と15mの幼児用の2つのプールがある「札幌市白石温水プール」を訪れたのは、ここによく遊びに来るといふ4人の男子生徒です。

まず、作業や対応などの説明を受け、顔写真の入った名札を首から下げて、きりっとした表情でそれぞれの持ち場に就きました。

2カ所の監視台に上ってプールを見渡し、無線で連絡



を取り合って監視する監視体験では、利用者の数を数えたり、具合の悪そうな人へ声をかけたり、利用者の安全を守る大切な仕事をまかされました。「緊張しました。はじめは声をかけられるか不安でしたが、事故を起こさせないという気持ちでがんばりました。」と、作業を終えてほっとした様子の生徒。このほか、プールやサウナ内の室温や水温をチェックしたり、利用者の人数によってプールを殺菌する塩素濃度を変える作業にも挑戦。これらを通して、仕事の責任と役割の大きさを実感できたようです。

水泳教室では、授業に合わせてロープを移動し、コースを作っていく作業を体験。その間にプールのゴミを拾ったり掃除をしたり。「無事役目を果たせて、安心しました。」と生徒の顔に安堵の表情が浮かびます。

利用者と直接触れあふ受付や売店では、「こんにちは」と元気にあいさつすると、利用者の方が笑顔で返事してくれるのがうれしくて。この体験を毎日の生活に生かします。」など、それぞれに成長できた一日でした。

生活協同組合コープさっぽろ ルーシー店

スーパーの仕事の大変さを 体験することができました



日用品や銘菓などの専門店をはじめ、100円ショップや飲食店、ドラッグストアなどの店舗が集まる大きな商業施設。その核となる大型スーパー「コープさっぽろルーシー店」にやってきたのは、「働くことの苦労や楽しさを学びたい。」と志願した5人の男子生徒です。

最初の体験は、商品の品出しです。3つのグループに分かれて作業開始。広い店内はお客さままでいっぱいです。みんな次から次へと、なくなりそうな商品の補充に



かかりっきり。お客さまの間をかいぐりながら、バックヤードと陳列棚の間を行き来したり、商品の陳列場所を探したりで、汗だくです。「飲料やお米など重い商品もいっぱいあるので重労働でした。こんなに体力がいる仕事だとは思いませんでした。」「卵やパンなどは、慎重に扱わなければならないけど、早く出さないと、と思い神経を使いました。」と息を切らしながら語る生徒たち。

品出しに一息つくと、陳列作業に移ります。消費期限や賞味期限のある商品は、期限の早いものを前に並べるなどの陳列方法も教えてもらい売り場へ。

「一日中、立ち仕事なので、とっても疲れた。」と言いつつも、「お客さまの質問にしっかり対応できてよかった。」「見るとやるでは大違い。でも、スーパーの裏事情も分かって楽しかった。」と、仕事の楽しさと大変さを肌で感じた生徒たち。いろいろ新しい発見もできて、充実した一日を過ごせたようでした。

札幌市菊水やよい児童会館

お母さんの気持ちになって 子どもとコミュニケーションを！



地域の子どもたちが、いつでも自由に、いっしょに遊びながら仲間をつくっていくことができる児童会館。「将来、保育園や幼稚園の先生になりたい」という5人の女子生徒たちが、「菊水やよい児童会館」を訪れました。

説明を受けた後、さっそく、乳幼児と保護者がいっしょに遊びを楽しむ「子育てサロン」で小さな子どもたち



のお相手に。みんな子どもが大好きとあって、子どもの目線に合わせて寝ころごったり、ガラガラであやしたり。すぐに仲よくなることができました。付き添いのお母さんにもいろいろ教えてもらい、「子どもと遊ぶのは楽しいけど、子育てとなるとおもしろいことがいっぱいあるんだ。」と、よい経験になったようです。

その後、用具の片付けや、会館のイベントで配る景品の袋詰め、お菓子入れづくりのお手伝いを体験。「ちょっぴり先生になった気分が味わえて楽しい。」と喜ぶ生徒たち。

午後になると、授業を終えた小学生たちが続々と来館。みんな汗だくで、元気いっぱいの子どもたちの面倒を見ます。「児童会館は高校生まで利用できるのも、また、遊びがてら勉強しに来ます。」と話す生徒たち。

この体験で、「もっと子どもたちやお母さんたちと積極的に触れあって知識や経験を増やしていきたい。」という思いを強くした5人でした。

東白石中学校



Thanks Mail スイートデコレーション なんごう店 様

先日は、職業体験のために貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。お店は、いろいろな人が携わり、一つ一つのアイデアと努力に支えられていることを知りました。また、センスの間われる陳列棚のディスプレイでほめていただいたことは、大きな自信になりました。親切、丁寧なご指導で貴重な体験をさせていただき、仕事の楽しさを実感できたことに、心から感謝しています。 2年 A.T

南郷の湯

気持ちよく楽しんでいただく そのための努力が大切！



「湯めぐこち 南郷の湯」は、ヒノキと岩の露天風呂をはじめ、さまざまな内風呂や大型のサウナなどが銭湯料金で楽しめる、まさにゆめごこちなお風呂です。ここを訪れたのは、男子2人、女子3人の生徒です。

昔から日本人の生活に深く溶け込んでいる銭湯は、リラックスの元、マイナススイオンの宝庫と、人気が再浮上。今日の5人も銭湯の魅力に惹かれ、名乗り出たとのことです。



まず、接客業の基本、清掃に取りかかります。玄関、脱衣場、洗い場、湯舟と、広い施設の中をすみからすみまで磨き上げようとがんばります。「普段、こんなに清掃することがないので、腰が痛い…」と言いつつも一生懸命、作業に没頭し、「気持ちよくお風呂に入ってもらえるよう、風呂桶の裏までピカピカにしました。」と満足気な生徒たち。

清掃作業の後は、お風呂の衛生管理の勉強です。お風呂のお湯を消毒する塩素の濃度を自動的に保つ塩素自動注入装置と銀イオン殺菌装置を見学し、浴槽の清掃や消毒を確実に実施するためのマニュアルも見せてもらいました。「シャワーなどでお湯が飛び散った時に、呼吸器に入ると病気を引き起こすレジオネラ菌の存在を知りました。殺菌の大切さが分かりました。」「施設を清潔にすることは大切ですが、お湯の衛生面にも気を配ることが重要なんですね。」と裏方の努力を知って、みんなますます銭湯が好きになったみたいです。

(独)国際協力機構札幌国際センター (JICA札幌)

人のために国のために尽くす 仕事があると知りました！



開発途上国との間で、人材の派遣や研修員の受入れなどを行なっている国際協力のかけ橋、JICA。本通16丁目にあるJICA札幌へ向かったのは男子7人、女子2人の生徒たちです。

最初に、活動の紹介や開発途上国に関するいろいろな情報を展示するJICAプラザ、国際協力の資料が集まった図書室、セミナー室などを見学。その間にも、さまざまな

国から来た研修員が出入りする姿が目に入り、インターナショナルな雰囲気満点です。「外国の方が気軽に声をかけてくださるので、緊張がとけました。」と、笑顔になる生徒たち。見学後は、職員の方といっしょに「国際協力」という言葉をキーワードに、JICAが行なっている事業や活動、東日本大震災で日本が世界から受けた援助などについて考えました。

一日の体験を終えた生徒たちは、口々に、「雨が少なく水不足のギニアでは、危険な寄生虫が潜む不衛生な水を飲むしかないことを知ってこわくなりました。」「アフリカには、学校にも行けず働いている子どもが35%もいるそうです。何とかできないかと思いました。」「世界の人口の75%が開発途上国の人だそうです。これらの国の人たちが、安心して生活できる豊かな国をつくれるよう応援するJICAの皆さんの仕事に興味をもちました。」「これからしっかり勉強して、皆さんのように国際協力のかけ橋になりたいと思いました。」など、それぞれに国際協力への思いが広がっていきました。



スイーツデコレーション なんごう店

生活空間をコーディネートする 楽しさを知りました！



「豊かで楽しく快い」を合い言葉に展開するインテリア雑貨と家具のメガステーション「スイーツデコレーション」。やさしい、かわいい、きれいを発信するこのお店にやってきたのは、男子2人、女子2人の生徒たちです。

さっそく、サービスカウンターでサッカー(袋詰め)体験が始まります。大きな商品も多いので、お買い上げ

商品を袋に入れるこの作業は大変です。店員さんと2人がかりで取り組む場面も見られました。「お客さまに買って頂いた商品ですから、大切にきれいに袋に入れようと神経をつかいました。」と、早くも店員さんになった気持ちの女子生徒。

クッションコーナーでは、一番人目を引く商品陳列棚のディスプレイを任せてもらい、張り切っている工夫して飾り付けていた姿が印象的でした。「4人でいろいろ考えて、これなら注目してもらえる、という自信作ができました。お店の方にもほめられてうれしかったです。」と満面の笑みの生徒たち。

タブレット型コンピューターを片手に行う、このお店独自の荷受けチェック作業という重要な仕事も体験させてもらった生徒たちは、「商品の知識はもちろん、さまざまな商品を組み合わせ、お客さまにお勧めするセンスが大切。」など、これからしっかりと物を見る目を養い、もっとセンスを磨いて行こうと話していました。



幌東中学校



Thanks Mail

札幌トヨペット(株) 白石店 様

このたびは、でっち奉公で大変お世話になりました。今回は作業服を貸してもらい、修理・点検部門を体験させていただきました。次から次へと入ってくる仕事をテキパキと終わらせていく皆さまのスキルの高さに驚きました。修理・点検の仕事では、いろいろな知識を組み合わせることが大切だとわかりました。このような特別な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。 2年 K.S

札幌市白石区体育館

多くの利用者の方を笑顔にさせる裏方の仕事を学びました



さまざまなスポーツが楽しめ、スポーツ教室も開催している「札幌市白石区体育館」。地域のスポーツ振興に貢献するこの体育館を訪れたのは、男子2人、女子1人の生徒たちです。

施設や運営などの説明を受けた後、男子と女子1人ずつが日別や月別の利用者数集計をパソコンに入力する作業に就きます。職員の方から打ち込み方を教えてもらって体験スタート。

パソコンを前にして、画面と打ち込む資料を見比べながら、恐る恐るキーボードをたたき始める2人。「この資料は多くの方が利用するんだと思うと、気合いが入りました。」「はじめのうちは、間違えてばかり。職員の方につききりにさせてしまいました。」と生徒たち。次第にパソコンに慣れて、無事作業を終えることができました。

1人で受付と案内係を体験した男子生徒は、「はじめは心細かったけど、利用者の方とのコミュニケーションが大切と教わり、笑顔とあいさつはきちんとできたとおもいます。」と体験を終えてにっこり。

「一日平均の利用者が500人弱と聞き、こんなに多くの方が利用しているんだとびっくりしました。」「せっかく覚えたので、もっとパソコンを利用できたらよいなと思いました。」「笑顔とあいさつの大切さがよくわかりました。これからも続けていきます。」と体験の感想を話す生徒たち。「今日学んだことを、学校生活で生かしていきたい」と満足げな足取りで帰っていきました。



札幌市白石区役所

人と人が接する場 言葉遣いや思いやりを学びました!



「白石区役所」へは2人の男子生徒が向かいました。業務の説明を受けた後、区役所に届く何百通もの郵便物を各課別に振り分け、宛先の課に届ける作業をしました。「一度にこんなに多くの郵便物が届くのには驚きました。数が多くて整理が大変。」と早くも汗ばむ2人。作業を終えると、区の安心・安全の取り組みについて教えてもらい、窓口や電話交換室、ボイラー室など、庁舎内を見て回りました。

午後からは、午前中に覚えたことを実際の現場で生かす案内業務体験です。「年齢もまちまちな来庁者の方が、気持ちよく利用できるよう、言葉遣いに注意してください。障がいのある方やお年寄りの方へは、思いやりをもって接するようにしてください。」と業務上の注意事項を教してもらって、それぞれ2カ所の案内窓口に着きました。「うまく対応できるだろうか、間違ったことを教えないだろうかという不安が大きくて。でも、落ち着いて相手の話をしっかり聞いて、丁寧に対応できました。」「うまく話せるか不安で緊張しました。でも、来庁者の方の笑顔を見て自信ができました。」と2人。最後は、書類の作成作業に挑戦です。パソコンに向かって悪戦苦闘、やっと作った書類を持って決裁を仰ぎます。こわそうな課長さんの顔が笑顔に変わって一安心。「人と人が触れあう場だと知り、コミュニケーションや思いやりの大切さを学ぶことができました。このことを学校や生活に生かせるようにがんばります。」と、貴重な経験になったようです。



札幌トヨペット(株) 白石店

人にも環境にもやさしい車社会について学びました



新車、中古車が店の内外に並び、車検や点検整備を行う工場もある「札幌トヨペット 白石店」。ここを訪れたのは、4人の男子生徒です。

今回の体験現場は、工場です。最初に、工場長から車の基本的な知識を教してもらいました。「このお店で扱う新車には、事故を起こしにくくするための技術や、衝突の危険を察知して安全装置を働かせる技術、衝突時に搭乗者へのダメージを少なくするための技術などを組み合わせて搭載しています。」と聞き、「運転者は、いろ

いろな技術で守られていることを初めて知りました。」「1台の車は、10万点以上もの部品できていると知って驚きました。」とびっくりする生徒たち。

この工場では、高い技術検定資格を持つ方を中心に、5人のエンジニアが確かな技術でお客様のカーライフを支えていると聞いて、「お客さまとの信頼関係は、販売後のサポート体制で決まるんだ。」と納得した様子です。また、修理に必要な工具や機器も使いやすく配置され、作業する人への配慮が行き届いていることにも感動。

続いて工場に入庫していた、ハイブリッドカーの修理を見学します。リフトアップした車体の裏側を、みんな興味深そうに見入りながら、他の車との違いを学びました。「最後にハイブリッドカーに試乗させてもらいましたが、本当に静か。お父さんにすすめようと思った。」とのコメントも。企業が丸々となって進める、人と環境への気配りに感動し、将来こんな会社に入りたいと語り合っていました。

